

## 豊島郡半町村文書概要

- 1: 文書群番号 076008
- 2: 文書群名 豊島郡半町村文書
- 3: 出所 未詳（豊島郡半町村）
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 摂津国豊島郡半町村／兵庫県豊島郡半町村／大阪府豊島郡半町村／大阪府豊島郡箕面村ノ内半町村／大阪府豊島郡箕面町ノ内半町／大阪府箕面市半町、瀬川など
- 6: 行政区分 幕府領／武蔵国岩槻藩領(大坂城代領)／武蔵国岡部藩領(安部氏)／三河国半原藩領(安部氏)／大阪府第10大区1小区／半町村戸長役場／箕面村／箕面町／箕面市
- 7: 歴史  
半町村は摂津国豊島郡(現箕面市)に位置する。村高は元和2年(1616)頃に401石余、天保5年(1834)に444石余とある。氏神は式内社の阿比田神社。寺院は浄土真宗大谷派浄円寺。  
京－西宮間を結ぶ西国街道(山崎街道)沿いにあった半町村は、隣村の瀬川村とともに宿駅を運営していた。明治13年(1880)に宿駅は廃止。同14年半町村が属する豊島郡と、能勢郡の役所は、近在の池田村に置かれた。半町村には単独で戸長役場が置かれていたが、17年には平尾村・西小路村・新稲村・桜村・牧落村・瀬川村とともにひとつの戸長管轄(豊島郡第5戸長役場)下に置かれた。市制町村制施行後は、箕面村となった(『角川日本地名大辞典大阪府』『箕面市史』による)。
- 8: 伝来 昭和51年、史料館が古書籍商より購入。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 469点(目録件数382件)
- 11: 年代 明和8年(1771)～昭和21年(1946)
- 12: 構造と内容  
本文書群は、半町村の村有文書である。近世～昭和20年代までと幅広い時代にわたる文書群であり、大半は明治期の文書である。近世のものは役銀請取等貢租関係史料が大半である。  
明治期については、①地租改正、②半町村戸長役場及び村会、③徴兵、④借地経営(半町村共有地に関するもの)、⑤金銀貸借等に関連する史料がまとまっている。また大正・昭和期については、土地経営帳簿、共同貯金徴収簿などがある。
- 13: 関連史料 なし
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央